

第3章 自由回答及びその他の回答

自治会・町内会アンケート

問2. 会長は、どのような方法で選出していますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

問2 5. その他
・くじ引き
・その時の状況によって互選か投票になる
・できる人に頼む
・マンション管理組合による推薦
・一本釣り
・会長指名
・規約上は輪番であるが、なる人がいない
・居住年数の長い人
・協議会からの推薦
・互選、又は選考委員会による選考
・住民による話し合い
・選挙
・選考委員会による選考、それで決まらない時は輪番
・組番(輪番)
・多数決
・抽選
・副会長から会長に
・輪番で役職選出後、くじで会長選出

問7-1. 自治会・町内会に加入しない理由は何だと思えますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問7-1 10. その他
・ 1室に数人で暮らしている
・ アパートの所有者の理解がないから
・ ウィークリーマンションで入れ変わりがはげしい
・ サービス付き高齢者住宅の住人
・ ワンルームタイプで不動産及びオーナーが加入しないもの
・ ワンルームの25世帯には外国人が半分以上
・ 加入するメリットがない
・ 加入は任意、強制ではない
・ 加入への勧誘が十分でない
・ 外国人、学生が多く協力を求められない
・ 活動の時間がない(共働き等)
・ 管理会社が協力しない
・ 協議会になって会員であるメリットがなくなった
・ 戸建てが少なく集合住宅が多い
・ 行事が多く負担になる
・ 高齢化に伴う活力の低下
・ 仕事等が忙しい
・ 自治会活動に無関心
・ 生活が苦しく、会費を払えない
・ 生活保護を受けている
・ 前々会長に対する不信感
・ 他地域の自治会に加入している
・ 退去していないが居住していない
・ 入居前に自治会費は任意なので払わなくてよいと聞いていた
・ 病院の宿舎のため
・ 不動産会社が町内会費はないと言う事で入居させている
・ 未払の世帯が行政に払いたくないと聞くと「自由です」と返答される

問7-2. 未加入世帯があることで、困っていることはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問7-2 9. その他
・ モラルがなくなっている
・ 加入、未加入で差別化を図らないと加入者が抜けていくが、一方で未加入者と壁ができてしまう
・ 加入世帯には誰が未加入か分からないが運営側としては不公平を感じる
・ 回りも加入してくれないほうが良いと思っている
・ 敬老会粗品配布で、年齢、家族構成が不明
・ 見守りが必要と思われるのにアプローチが難しい
・ 行事が多すぎて参加者を確保するのが困難
・ 災害時の見守り、支援が心配
・ 災害時の連帯感や助け合いが心配
・ 災害時の連絡等
・ 子ども会に入会しないが子どもは参加する
・ 自治会からの連絡が取れない
・ 清掃等がなされていない
・ 地域活動(防災訓練等)で統制が取れない
・ 町内会費がもらえない。役員が早い周期でまわってくる
・ 防犯灯は自治会費から支払っているのに未加入世帯からも応分の負担をしてほしい(今後検討していきたい)
・ 防犯灯設置の時に、ここは「未加入なので考えます」と…
・ 未加入世帯であっても配布物(市政だより)は配布しなければならない

問8. 自治会・町内会への加入を促進するために、行っていることがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問8 5. その他
・1年に1回管理会社への確認を実施し、次年度の加入か不加入を再確認する
・アパート新築時に管理業者と交渉
・イベントの時に加入を促進している
・とにかくあいさつと、対面して町内の世間話
・ビルオーナーやマンション理事長、管理会社に加入をお願いしている
・マンションに掲示板の設置をしている
・マンションの管理規約に於いて町内会費の納入を定められている
・一戸建て住宅のみ加入の案内をしている
・一定頻度で新入住民に対する歓迎会の実施
・加入を義務づけている
・会報の配布
・管理組合を通じて案内をしている
・規約を渡して説明している
・交流行事のチラシを配布
・子ども会への参加を推進している
・子ども会で集団回収を行う等自治会の活動が見える様にしている
・自治会報(詳細な決算書付)発行、防犯カメラ設置、災害備蓄品備蓄
・全世帯加入と規定。自治会規約
・総会資料を全戸配布(活動の周知)
・分譲マンション1棟で町内会を構成しており、町内会加入を分譲マンション入居の条件にしている
・防災訓練・夜回り等する中で町内活動PR
・未加入マンションの理事会・組会に出席して案内

問9-1. 特に集合住宅入居者を対象に、自治会・町内会加入や活動への参加を促進するために
行っていることはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問9-1 7. その他
・ お茶会等の交流会を毎月
・ チラシの配布、声かけ、子供達の見守り
・ バスハイク募集。女性のための防犯講座(ワイン&パスタ付)。どちらも町外の友人も自治会員と同額参加者
・ 回覧板の配布時にアパート入居者への入会説明
・ 管理会社が、入会前提で入居者に説明している
・ 管理会社に町内会費徴収をお願いしてる
・ 間借りの方には大家が説明され、貸店舗(出店)の方は4分の1の会費としている
・ 規約の配布
・ 公民館だよりなど月々の物は必ず配布
・ 市営団地の自治会を町内会に編入、共同している
・ 集合住宅に組長を置き、町内会議に参加している
・ 入居時、加入案内を配布している
・ 分譲マンション1棟で町内会を構成しており、町内会加入を分譲マンション入居の条件にしている

問14. 自治会・町内会の運営や活動について住民に知らせるために、行っていることはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問14 6. その他
・ FAXを利用して周知を図っている
・ ふれあいネットワークで見守り(一声かける)
・ お知らせをポスティング
・ ラインを開設している。現在152名登録→約25%の世帯が登録していると推測している
・ 意見交換会を開催している
・ 各団体及び公民館の広報誌を受け取り回覧している
・ 緊急時は組長を集め相談している
・ 参加してくれそうな人に直接電話・メール
・ 清掃(月1回)等で集まった時に周知して頂いて居る
・ 組長による伝達
・ 総会配布資料に予算、決算、事業計画、実績報告等すべて開示している
・ 総合議事録を配布している
・ 体協行事などの選手募集を含み「グループライン」で広報
・ 大きな行事をする際は、隣組長を集めて説明している
・ 町内会総会資料を隣組毎に回覧している
・ 必要に応じて臨時総会を設ける

問14-1. どのような事柄を知らせていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問14-1 14. その他
・ ゴミ収集日や一斉清掃など大切なこと
・ 会長の活動報告
・ 官報関連
・ 区役所より通達等、区役所への要望等提出内容
・ 警察からのお知らせ等
・ 月1、公民館発行(校区行事のお知らせ等)
・ 犬、猫の飼い主責任について
・ 公民館等の紹介、活動報告等
・ 行事の様子、写真など
・ 行政や小・中学校等関連機関からの回覧物
・ 市との道路計画等についての対応、経緯について資料作成、配布説明
・ 自治協、町内会連合からの文書、チラシの配布
・ 赤十字・赤い羽根等の寄付。小・中学校便り・防犯チラシ・安全だより・自治会部活動のお知らせetc
・ 全戸と情報共有した方が良い内容のもの
・ 地域の活動案内
・ 道路工事等のお知らせ
・ 入会者の紹介
・ 防犯ポスター掲示
・ 役員の行動実績

問16. 現在福岡市では、地域における諸団体などの長(自治協議会会長など)への女性の就任状況は2割程度となっています。

あなたは、地域における活動に女性のリーダー(長)が少ない理由は何だと思えますか。当てはまる

問16 8. その他
・ 2年任期を守られていた時期には女性会長も多かった
・ 60代の退職者が町内に入っていない
・ サブ的なことは協力してくれ、それでいっぱい
・ ただそこに適任の方がいないだけ
・ なかなか女性が進んで活動に参加してくれない(婦人部、子ども会等に参加して頂いているが)
・ なり手がいない
・ むしろ女性同士の反発が阻害している
・ やる気が必要
・ リーダーのなり手がいないし、断られている
・ 女性が遠慮している
・ 会議の運営や調整、各種資料や文書作成に慣れていない
・ 会議の集合時間等が夕食の時間帯が多い
・ 結構力仕事(草刈りや土木作業等)があるため
・ 元々、地域活動に手を上げる人が少ない中で比較的女性が少ない
・ 現60代以上の世代では、女性はリーダーになりたがらない
・ 現在のリーダーたちに理解が無いから
・ 民主的な選挙等で役員が選ばれていない
・ 行政からの役割や動員にさかれる時間が多い
・ 高齢化すれば男女の差はなくなる
・ 高齢化で役員をする人がいない
・ 市議会議員、県議会、国会議員の女性比率が小さいから
・ 自治会等の仕事が多い
・ 自分の子ども中心だから
・ 住民が少なく、高齢化もあり、人材が不足(男女とも)している
・ 女性、男性に限らずなり手がない
・ 女性の2割就任が悪い状況に聞こえる。人間、適材適所に対処した対応で良いのでは…
・ 消防団や催事、選挙が関係するから
・ 昔ながらの古い風習のため
・ 責任の重大さ、人間関係調整のわずらわしさ、時間の制約などで敬遠されるし、無理に押し付けられない
・ 相談や声かけをしていない
・ 男女ともに現役で仕事をしている人以外は年配者がほとんど
・ 男性の理解が低い
・ 男性会長の長期化

問17. あなたは、地域における活動において、女性リーダー(長)を増やすために、どのような取組みがあったらいいと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問17 7. その他
・パート従事の給与より高額の手当支給
・ボランティアではなかなかやっけていけない。活動報収の設定が必要
・まずは人を増し地域活動を活性化すること
・まず役員に選任していく
・まわりの人のサポート
・リーダーとして動くために女性が手を上げられるかどうかだと思う
・リーダーになりやすい体制づくり
・リーダーの職務の分散化(軽減)
・わきあいあいの雰囲気作り
・意識改革
・家族の協力、会長以下の役員の協力、入居者の理解
・会長か副会長を男性・女性1人ずつにすれば良い
・会長の仕事を減らす事に尽きる
・皆が協力する環境づくり(交替者がいない)
・活動費を支給する
・議員の女性比率を増やす
・景気回復
・公民館からの目ぼしい人の紹介
・行政からの働きかけ(特に女性に対する)
・行政の女性リーダーを大幅に増やす実績作りが必要
・行政側からの手当支給
・参加しやすい協議会の体制を作らない限りは、皆の参画は全く望めない
・仕事の量が多すぎて女性では無理な点がある
・子ども育成会の活性化(自治会役員の予備軍となる)
・事務局長、会計等町内3役への登用他女性役員を積極的に活用
・自治会(校区)の活動、行事等の見直しが必要
・出席する会議や地域活動が多すぎるので町内会長が出席すべきものを減らす
・女性に限らず役員の手を増やす施策が必要
・女性に対する男性の偏見をなくす。男性が女性に協力する
・女性リーダー割合の数値目標
・女性側の意識改革も必要
・新しい地域活動の形態が必要かもしれない。※町内会の解体とボランティアの形式による地域活動
・男女、年齢に関係なく参加できるための工夫
・男女関係なく、能力主義で起用
・男女協同参画、子ども育成会、中学生指導等女性が会長になる
・男性、女性の役員の比率を決めると良い
・地域の活動が多すぎる(文化サークル、公民館、その他)もう少し活動を少なくすることが必要
・働き方を含めた環境整備
・必要なのは「リーダー」であり、女性リーダーではない。女性リーダーにこだわると女性の進出が阻害される

問19. 前問でご回答いただいた方にお尋ねします。どのような課題が解決、また取組みが活発化したか、差支えなければ内容を具体的に記入してください。

問19 自由回答
・役員会(全員32名中)に女性が多く出席するようになった。
・会計業務が的確に処理されて信頼できる形となった。女性グループの参加(呼びかけ)がスムーズになった。
・高齢者支援など、民生委員協議会(女性多数)がきめ細かい家庭訪問
・隣り、高齢者への気配り。転入者へのお願い
・民生委員の協力を得た生活状況調査に着手した
・女性の方を実行委員に選出したことで、きめ細かい企画・運営を行っていただいている
・70歳以上の高齢者を対象にサロン開設。
・70歳以上の住民に対し、男組18名女子か11名で介護支援事業以外の困り事(蛍光灯の取り換えとか家具の移動など)。
・SNSを活用して連絡を密にできるようになった
・新しい事をやろうとした場合、男ばかりだと建前論ばかりで前に進まない。女性の場合、まずやってみようとする力がある。
・新しい女性人材の発掘、女性から見た企画案
・育成連と成育連の連携で相互の活動がスムーズにいたっている。地域の活動で女性の増加が増えた。
・運動会の商品に女性感覚が取り入れられた。
・運動会や祭りに関する行事などは、きめ細やかさが素晴らしい。介護士、保健師の役員がいる為子どもや高齢者の統率が良くなった。
・エコロジー活動が活発になった。高齢者ほほえみ活動などの充実。
・大雨による避難指示の際炊き出しや高齢者の支援(特に民生委員とケアマネージャー)で女性陣に助けられた。
・お年寄りが多いマンションの為、声掛けや細やかな配慮は女性にしかなれない。
・会議の進行がやわらかくなった。
・会計事など、女性の方が資料作成など細やかで丁寧。
・介護問題などに対して女性の行き届いた気配りなどが活かされた。
・会食会、カフェ、サロン等を実施し、高齢者が一同に会する人数が多くなった。高齢者世帯の情報が入りやすくなった。
・積極的に自治協役員に登用するとか町内会長と各種団体(例:社協)の会長の兼務を辞める事で女性の登用が多くなり活動に幅が広がっている。
・女性特有のネットワークを活用しているが、参加促進のキーパーソンとして適役だと考えている。
・花壇が清掃され四季の花が植えられている。個別に声掛けされている。
・カフェのオープン、チョイボラ(ちょこっとボランティア)の実行。
・環境美化等女性らしいこまやかな心づかい、気くばりができ、地域の防犯等役立っている。
・キメの細かい、見守り、声かけ運動ができるようになった(特に高齢者に対して)。
・協議会全体で女性サミットグループで活動。高齢者の見回り声かけ、又、ウォーキングパトロールで子供達の安全を見守っている。
・行事等を行いやすくなった。準備や女性からの提案、片付け等も効率が良くなった。
・敬老会への誘い、一人暮らしへの配食サービス等の高齢者へのお付き合いが女性が面談した方がよい。
・広報担当を女性にお願いして行事、催し等PRが拡大した。
・子ども食堂の開設や地域カフェの開設が進んだ。
・子供の育成について、PTAとか他の学校団体(地域委員他)とのかかわり方に道すじができてきている。
・災害時の避難所での運営は女性目線の大切さが認識された。
・小学生、中学生、高校生が地域行事に参加する人数が増えた。
・女性が会長についたため、他の部会や組長に女性の協力が多いと思う。
・女性の方が話しやすいので、自治会加入について各戸を訪問しやすい。
・独居老人の現状(女性のみ家庭)がわかるようになった。
・引きこもりがちの高齢者及び子育て世代を対象とした”ふれあいサロン”及び”パパママ広場”が活性化した。
・副会長に女性が就任したことで、組長、育成の方から話しやすい状況になってきた。

問21. 今後、どのような分野の活動に積極的に取り組みたいと考えていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問21 17. その他
・ イベントのブランド化
・ 夏祭り
・ 花見
・ 地域住民の生活の向上というよりも、地域の活性化に町内会もしっかり活動しなければならない
・ きめ細やかな見守りや防犯カメラ、共同倉庫の設置等も検討中。町民に直結する活動をしたい。
・ 子ども会活動を支えている方々への支援。
・ 自治協議会行事への協力
・ 住民と企業との交流
・ 食育活動
・ 人材発掘
・ 成人の組織作り
・ 道路拡幅、街灯、カーブミラーの設置
・ 日本の文化を感じる事業
・ 猫問題
・ 防災用、緊急時の名簿作成
・ 民生委員(地域)の育成、高齢化のため人材不足
・ 緑化保金活動

問22. 自治会・町内会の運営や活動にあたって、どのようなことが課題だと思いますか。次の(1)～(3)のそれぞれの項目について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問22(1) 4. その他
・ 運営や活動の中心が高齢者であり、若い世代の参画を期待する
・ 会計がパソコン処理のため年配者には難しい
・ 会長の仕事が多い
・ 会費の集金、特に集合住宅における集金の難しさ
・ 活動を負担感なくできる量にすること
・ 共働き世代は時間が無い
・ 校区の行事が多すぎる
・ 校区の自治協議会、町内会長の行事出席回数が多い(月15日以上)
・ 行事が多すぎて効果も分散している
・ 行事への参加者が少ない
・ 高齢化による人手不足
・ 高齢等の理由で退会者が増加している
・ 次の担い手探し
・ 自治連合会があるため、問題解決に自治協に力がないのが不満である
・ 手当てが少ない
・ 就業年齢の高齢化で人材が不足
・ 集合住宅の参画
・ 集合住宅の住民への町内会活動の周知が難しい
・ 住民の高齢化が進み役員・組長に選出されても活動ができない
・ 町内会の活動の意義が理解されていない
・ 町内会長になる人がいない
・ 特に民生委員になってくれる方を探すには苦労している
・ 民主的で公平な会にしないと役員が出てこない
・ 役員が長期に渡って変わらない。旧体依然とした組織

(1)－1. これらの課題を解決するために行っている取組みがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問22(1)-1 .7. その他
・ 2年後には退任を宣言、後任を選ぶ選考委員会を立ち上げている
・ 40代～50代の女性の参加を考えている
・ コミュニケーションの活性化
・ ひたすら会長が頑張るのみ
・ マンションの方の協力
・ 会場場所の確保
・ 各役員の仕事内容を簡単、明確にする
・ 慣例を一旦見直す。環境が変わっているにも拘らず考えが変わっていない
・ 求心力を維持向上させる為の自己啓発に取り組んでいる
・ 現在規約化して実践中
・ 今年度から各種委員と購入マンションの代表に月1回の参加を呼びかけているが、マンションからの参加は厳しい
・ 自治会からの様々な説明を強化する
・ 自治会として必要な事業の実績づくり。自治会の存在意義を高め自治会のあるべき姿で運営する
・ 自治会自体の廃止
・ 若い人たちを地域活動に取り組む
・ 人との「つながり」
・ 男性群のふれあいの場づくり
・ 町内会運営推進会を役員OBを母体に立ち上げる様にしている
・ 不要不急の会議はできるだけおさえ、文書により情報を共有化する
・ 勉強会、研修会の開催
・ 防災に力を入れ、隣近所をつなぐを意識してもらい「共助」絆をひろめていく
・ 役員のなり手を募集するチラシ作成
・ 役員の刷新、活動の記録と共有、目的の明確化を図る

問22. 自治会・町内会の運営や活動にあたって、どのようなことが課題だと思いますか。次の(1)～(3)のそれぞれの項目について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問22(2) 6. その他
・くじ引きで役員に当たると町内脱会する人が多々ある
・クレマーが町内に居て困っている
・ボランティアとか奉仕の精神が欠けている
・マンションなどワンルームマンションなので、出入りが多く把握できない
・マンションなので隣との交流すらない。住民なのか来客なのかもわからない。入居時に隣近所への挨拶がない
・マンション住人は自治会に加入していない
・マンション築30年となり高齢化が進んでいる。町内会加入辞退者が少しずつ増加している
・ワンルームの方はほとんど参加していない
・横の繋がり作りが難しい
・外国人世帯の増加
・活動へは参加されるも、消極的な参加である
・自治会への興味、関心が無い
・戸建世帯の高齢化
・高齢化、加入しない世帯が少しずつ増えている
・高齢化と次世代のつなぎ
・最近増えているアパートが自治会費を払わない(管理費から出してくれない)
・参加者が固定化してきている
・子どもがいないので、子どもを通じての活動が無い
・自治会に必要性を感じていない
・守秘義務があるとかで、なかなか住民の状況がわからない
・集合住宅は町内会費は家賃に入っているが、活動への参加は拒否が多い
・住民としてのマナーの欠如が一部見られる。犬のフン。駐車違反など
・住民同士の縦の関係、先輩後輩のつながりが無い。他所からの転入がほとんど
・無関心、煩わしいと思っている人が多い

(2)－1. これらの課題を解決するために行っている取組みがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問22(2)-1 9. その他
・ 世代間の交流を図るため、「集会所みんなの教室」 敬老お祝い会へ子どもを参加させている
・ 2ヶ月に一度の廃品回収公園地域清掃の後、広報や活動報告をしている
・ テナント店が多く地域全体に対する関心はいまひとつだが、活動の中身を説明して理解を深めたい
・ 安全管理をやり、行事を今まで以上に楽しくやる方法を考えている
・ 運動会の時、子ども・親に参加してもらい交流をしている。特にマンション等は子どもが多い。将来的に町内活動加入を目指している
・ 近隣町内会との統合
・ 集合住宅管理組合を1つの町内会として登録している
・ 初の交流親睦会(無料)29名参加有り(町内戸数の1%)を実施した
・ 新しく転入された人は組長が話をするようにしているが、活動のため休むなど、仕事を優先してと言っている
・ 町内の行事、校区行事等のチラシを配布している
・ 目的を明確にする
・ 理事長、管理人とできるだけコミュニケーションをとるようにしている

問22. 自治会・町内会の運営や活動にあたって、どのようなことが課題だと思いますか。次の(1)～(3)のそれぞれの項目について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問22(3) 7. その他
・ 1人で役員を重複している
・ 1団地なのに2つの校区に分断されている
・ どの行事も「例年通り」のプログラム運営で、反省や工夫がない
・ ほとんど業務は会長が行っている
・ マンション管理(経費で会費や修繕)上の課題で終わってしまう。校区まではまわらない。
・ ワンルーム以外の住人は高齢者しか住んでいない
・ 意識改革
・ 一部の人に負担がかかる
・ 運営はスムーズにできるが高齢者が多く、自分の事で精一杯と言われる
・ 会員の何人かが反対し、自治連合会に入れない為、相談する所が無い
・ 課題に対して自発性を持った人を増やせるかが問題
・ 各団体の役員になった人はやむなく業務を行っている感じがする
・ 各部会含めて町内会長への参加依頼が多過ぎる
・ 活動が前年に慣らう事が多く進展が無い
・ 管理組合との連携が難しい。管理費と町内会費が一緒に引き落としのため問題がある
・ 協力者がいない
・ 現職中のスタッフの時間帯と高齢者の時間帯が合わない
・ 校区協議会の当て職や出事が多く、又、行政主催行事への参加要請が多すぎて、町内の改革に手が回らない
・ 校区自治会、町内会、ボランティアと行事が多すぎて他の事をやる、金銭的、時間的、余裕がない
・ 校区全体の行事が多く、それに参加するだけでいっぱい
・ 高齢者が多いので運営がむずかしい
・ 今の人達がどんなことに興味を持っているのか多様化していて掴みづらい
・ 時間は取られるのに何の報酬もない(わずか、役員手当のみ)
・ 自治会長に業務が集中する。仕事との両立のため余暇がなくなる
・ 自治協議会への上納費が高い(%)
・ 集会所が狭い
・ 人員, 人材不足
・ 相談できる人が少ない
・ 担い手がいない
・ 昼間の参加者が少ない
・ 町内の過疎化
・ 町内の指揮系統が整理されておらず記録もとられていない為、後任者が指示すらできない
・ 町内会でできる最低限しかやれない(校区事業の案内、防犯灯、防犯カメラの管理、地域ゴミ拾い等)
・ 町内会としてすでに成り立っていない
・ 町内会への上部からの作業が多く公報、チラシ配布の日がバラバラで負担となっている
・ 町内会長の負担が大きすぎる
・ 町内活動より、協議会の方が多い
・ 町内単位のあて職が多くて、うちの町内は戸数が少なく住民そのものが少ないのでできていない
・ 毎年交代する役員が消極的
・ 役員が忙しく時間がない
・ 輪番制のためやむなくやっている(自分含む)方が多いと思う

(3)ー1. これらの課題を解決するために行っている取組みがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問22(3)-1 3. その他
・ 1年1回の総会はしっかりしたものだが、出席者が殆ど一緒だから改善したいと思う
・ チラシや公民館だよりにのせてもらっている
・ できるだけ役員負担が少ない運営を心掛けている
・ できる人員でできることをする
・ マニュアルづくりをしている
・ 引き継ぎをしっかりする
・ 会合には全役員を招集、活動状況、取り組み状況の報告を行い理解を深めている
・ 企業へ協賛のお願いを実施
・ 極力、仕事・行事を減らしている
・ 個別の声掛け
・ 後任へ引き継ぐことを前提に活動を全て記録する
・ 公民館ではなく近くの喫茶店で会合をもつ
・ 公民館を積極的に活用している
・ 校区と区別し自治会で独立的行動で1つに集約
・ 時期をずらして別企画を行う。夏祭りが校区と重なるので中止とし、冬に餅つき大会を定例的にする
・ 自治会活動になるべく参加する
・ 集会所の建設を検討している
・ 小さなコミュニティをまずは作り、試行していく
・ 他の自治協議会の事業等を見学させてもらい、課題・意見等を聞く
・ 団体行事を少なくし、サラリーマンでもできるように改革をしなければならない
・ 地域活動の中で人材を見つける
・ 町内の企業から行事ごとのスタッフの派遣、行事の参加も含め依頼している
・ 町内会長と校区団体の長に重複しない体制と話している
・ 町内事業所に寄付を募る場合がある
・ 非会員の勧誘継続
・ 福岡市のホームページより課題と取り組み方法や助成について調べている
・ 分担することを心がけているが難しい
・ 役員、個々人の努力に頼るしかない

問23. 自治会・町内会の運営や活動を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問23 9. その他
・「町内会って何をしている、何のメリットがある」という疑問に答えることができるようにする
・ボランティアの呼びかけ
・マンション居住者の顔が見えないようにする
・ワンルームマンションの戸数の規制(福岡市条例を作成)
・会長の仕事の軽減
・各(家庭)世帯がまだ若い世代のマンションなので自治会の活動の足掛かりをお世話する事が必須と思われる
・管理会社の協力を得ることが必要
・活動の場として近場にグラウンドの確保(拡張含む)が必要
・個人情報非開示の壁が町内会の活動の妨げとなっている。ある程度情報が必要
・公共の場所(バス停や信号の所)に掲示板の設置が必要
・祭り等の参加呼びかけからコミュニケーションを作っていくことが必要
・市は集会所の必要性を理解してもらいたい
・自治会、町内会の必要性の説明
・自治会への行政側の直接的支援(経済的、精神的、指導的)
・自治会活動の意義を住民に理解していただく
・自治会活動の根本的な仕組みの改革
・自治会活動を民主的に行うこと
・自治協の体質改善(自治会の位置付け)
・自治協議会の行事(活動)を整理、縮小する必要がある
・自治協議会の仕事を減らし、自治協との併任をなくすこと
・手段が目的となった活動の中止、目的の再定義が必要
・住民同志が顔見知りになるよう意識して取り組む必要がある
・他の町内会との統合も必要
・他町との情報交換・ノウハウの収取が必要
・地域住民の自治会に対する興味の促進
・町内会制度の抜本的見直し
・町内子ども会への加入促進
・団体等の行事の整理をしてゆとりある自治会活動にしたい
・防災意識の向上←隣人同士のつながりを広げるため

問24. 近年、自然災害の影響や超高齢社会の到来などにより、地域の絆や共助に関する市民の関心や、地域コミュニティに対する期待は高まっていますが、あなたの町内で、これらの対策として新たに開始した共助の取り組み(住民同士の「支え合い」や「助け合い」の活動など)はありますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。また、1を選んだ場合は、具体的な内容につ

問24 自由回答
・「おひさま隊」を結成し、見守り活動を実施
・「災害時助け合いネットワーク」として、毎年組長に組内住民の状況を表に書いてもらい、意識してもらい救助活動の糧としている。
・「ふれあいネットワーク」の拡充による緊急性、災害時の連絡網の確立。要支援者に対するマンツーマンの助け合い。
・「見守りマップ」を作成し、「支え合い」の活動を行っている。
・『自主防災対策本部』をもうけ、年1～2回の全体研修会を開催
・2005年7月に福岡県西方沖地震が発生した事で学んだ教訓として避難訓練を実施している
・2ヶ月に一度、住民の懇談会を行っている
・2つの町内会が一緒に月1回ウォーキング会を開催し、ラジオ体操の後お茶を飲みながら交流をしている。
・3世代もちつき大会を12月初めに行っていて、100名以上の参加があり、交流をしている。
・3年前より地域包括ケア事業の一環として、1丁目～3丁目単位での見守り隊を作り、毎年総会資料の表紙にて紹介している。
・4町内合同主催による(毎月1回)「サロン」の開催、校区自治協議会主催の防災訓練(年1回)への積極的な参加
・5～6年前から町内で春のお花見会を実施、又、ハロウィンパレード等を行い、出きるだけ3世代が楽しめて、1人でも顔見知りが増えていくような工夫をしている。
・80歳以上のひとり住まいの情報共有化、自治会内の役員だけでも情報を共有する。
・H29年度に防災(主に備蓄)対策として、町内の公園に倉庫を新設した。
・NPO法人との連携(安否確認)。
・高齢化が進み要支援者をどう助け出すか、みなさんと話し合っている。
・以前より町内にて自主防災組織ができていて、年1回、役所の協力を得、活動・訓練をしている。
・一戸住居で、老人のみ住んでおり、何かあったら電話をするようにしている。
・今まで町内の区域外だった。避難場所を町内の企業にお願いして了解して頂いた。
・消防分団との防災訓練実施。
・お助け隊を組織し、高齢者の安否確認やゴミ出し等を行っている。
・お助けマップを組長、民生委員等で作成した。
・買い物支援、お助けあい隊などを実施
・回覧板などで、災害対応の呼びかけ、体育祭などに高齢者の招待。
・公園に防災倉庫の設置。毎月1回第4月曜日に夜回り実施。75歳以上への声かけ。
・救助要望フラッグ、マグネットシールを配布したり、救助支援訓練などを実施
・近年ふれあいネットワークでの助け合いの活動が高まっている。
・近隣の病院や老人ホーム施設との連携及び情報の共有
・組長、隣近所の方々に見守りをお願いしている。情報の収集を行ない近況の把握に努めている。
・車椅子の避難場所の誘導など。人工呼吸、段ボールベット、仮設トイレの作り方、土の袋の積み方などの演習。
・敬老会を立ち上げ、月1回の会を行い、安否確認及び情報交換を行っている。
・校区での「ふれあいネットワーク学習会」に町役員(5名)が受講予定。其の後、町として具体的に実施できる取り組みを検討していく予定。
・高齢者、障害者最優先で取り組んでいる。デイサービスの車輛、駐車場の整備(車椅子)等。
・高齢者・身がいがい者(双者共、弱者に対する)「見守り隊」を組織。非常時の介助・救済に当たることにしている。1町のみならず「隣接2町」と連携し、「ブロック」として対応することも…(町内会長間)。
・高齢者増加に伴い、福祉の勉強会を行った。昨年3回(町内会役員、組長対象)。
・高齢者の居場所づくりとして管理組合が管理する集会所を使用可能とするよう折衝中。また、災害時の食料備蓄場所の確保についても管理組合と交渉中である。
・高齢者の方の個別リストを作成して地域の顔の見える環境づくりを計画している。
・高齢者食堂の実施。

問24 自由回答
・今年度より、町内バーベキュー大会を開催し、若者と高齢者との交流を図る。
・災害時のための要支援者名簿を作るとともに、町内で5名の方に防災士になってもらった。
・災害対応積立金を予算の中から少しずつ積み立てている。目標額は300万円(災害時の緊急物資や見舞金の担保として)。
・自主防災組織の設置を検討しており、年度内に設置することになっている。
・自然災害への住民の非難場を町内企業にお願いして、町内では3ヶ所の緊急避難場所を確保した。
・自治会の中に「見守りたい」を組織して、組ごとに住民が助け合えるよう意識して取り組んでいる。
・市の公園にコミュニティハウスの建設予定。
・小中学生の防災スクールへの参加、各々の自治会長を知ってもらい防災についての話をする。
・町内会とは別組織で老人の見守りや、2ヶ月に1回食事会を開き、お茶をしながら歓談している
・町内で唯一の高いビルを所有している会社へ出向き、災害時の避難場所の提供を依頼しOKをもらう。
・町内のみを歩く「朝の歩こう会」を結成し、歩きながら危険箇所点検と、ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの自宅を見て回り、雨戸の開閉、新聞受けの状況確認をし、不審な場合は自治会、民生委員に連絡、報告を実施している。
・土砂災害のリザードマップの作成。危険場所の把握。
・夏休み、子ども会主催の'ラジオ体操'を町内会主催とし、「老若男女」に呼びかけコミュニティを図っている。
・マンション内の組織なので共有スペースを活用して高齢者を対象にしたカフェを催した。
・民生委員、消防団と自治会が協力し、高齢者の見守り活動と、住民同士の声かけ活動。
・向こう三軒両隣の付き合いを深めるための隣組対抗パークゴルフ大会を今年度から行う。
・催し物の景品に町内店舗で使える地域通貨(金券)を発行して事業者との間にWINWIN関係を作っていく。
・幼稚園に対し防災訓練の場所の提供

問25-1. 事業を実施したことによる効果はありましたか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問25-1 自由回答
・ (子どもが誘って) 父親の参加が多数あり顔見知りになり行事への参加を呼びかけやすくなった。
・ 参加者からの声として、今まで知らなかった人と挨拶を交わすようになったなどの声が寄せられた。
・ 2世代～3世代の地域交流ができた。
・ 防災訓練時福岡工業高校染色デザイン科生徒が各町(4町)ののぼり旗を作成、訓練に華を添えたこと。
・ 3世代交流会の開催実施により、毎年新しい方の参加があり、今後も継続していきたい。また、参加者の方に今後の町内会の運営に協力を依頼したところ承諾を得た。
・ 3世代ふれあい事業を開催したが、参加者の自己紹介を行う事で名前と顔の一致ができた。
・ 3世代餅つき大会を実施。年末押し詰まってしまうことから年末の帰省組みも混じることもあり、将来の人材として期待できる中堅どころと交流できた。
・ 3町内会合同の夏祭りに活用し、各町内から若手のボランティアを募ると共に、子どもの参加行事やプレゼントを多くすることで両親をはじめ、祖父母の参加が今までになく多くの参加があり、高齢者を含めた盆踊りも盛大となり、各町内との交流も深まった。
・ 当町内は全300世帯のうち8割以上がマンション居住者である。マンション居住者との交流が少ないので、重点的に参加を呼びかけた結果、21名の参加があり、一応の成果を得た。
・ 3世代交流餅つき大会を開催しているが、子どもたちの参加が多く、年配者からの指導を素直に聞いて、交流の場が広がり、校区の運動会等では仲良く競技に参加するようになった。新しく入居された方が、子ども連れで参加していただけた。
・ 挨拶していただいただけの方達と話すことができた。
・ 新しく建ったマンション等の住民が参加して頂き、若い人たちの町内活動参画や役員選出に役立った。
・ 新しく地域に来た人で、町内会スポーツが年間6回程度あり、その中で参加されてすべてのスポーツに参加されるようになった。
・ いちばんの効果としては、世代間の隔たりが縮まり住民どうしとても仲良しになったこと。
・ 今は学校で子どもさんの事も分からないと言われていたが、誰の子どもさんだという事が分かったことは成果。
・ 今まで決まった人の参加でしたが、30代の親子での参加が増えてきた。
・ 今まで行事に参加したことなかった若い人が参加する様になり、その中から町内の役員を任せられる様な人材も出て来ている。
・ 今まで共同住宅(マンション等)に住まいの方の参加が少なかったが多くなり横への広がりが見られる様になった。
・ 運動会などで選手のつながりできた。
・ 多くの住民の参加により顔を知ることができ交流を図ることができた。
・ 外国人の方に参加して頂き、その後自治会の活動にも積極的に参加されるようになった。
・ 会長になる人がいなかったが、定年後やりますという人が出てきた。
・ 顔見知りの方が増えた。この事業をきっかけに老人会へ入ったり他の催し物へ参加する人が増えた。町内の活動の1つを身をもって味わっていただけ喜びの声もたくさん聞け、役員モチベーションアップにもなった。
・ 行事を通して顔見知りの人が増え、町内で出会った時に気軽に挨拶や声かけができるようになった。町内の住民が仲が良く何事にも協力的になった。
・ 近年特に若年世代の加入が多くなり、事業の実施により意思の疎通が図れ、町内融和が図れた。将来の人材確保の為にも有効だと思う。
・ 声掛けのある機会が持ちにくかった高齢者の方々を誘うことができた。就学前の子どもを持ったファミリーへの活動への参加を促し、新しい世代を巻き込むことができた。
・ 子ども会、老人会、それぞれで活動していたが、一緒に交流、楽しむことができた。
・ これまで疎遠がちであった高齢者夫婦やひとり暮らしの者の交流ができた。
・ 資金が増えたことで、内容が濃くなった。3年間継続したことで、年々参加者が増し、御芳志も増えた結果、自治会の予算も増え、好結果に現在つながっている。
・ 自治会主催の他の行事への参加者が増えた。
・ 自治会未加入者から自治会加入の申し出が多数あった。
・ 町内会主催のイベントに低料金で参加してもらうことが可能となり、企業の参加も増えた。
・ 住民が高齢化し、老老世帯ばかりとなっているが、普段顔を合わせない住民の家族と話す機会が持てたこと。
・ 新入居者の参加が多数あった。
・ 全世代対象の事業を行った事で、世代間や組織間の交流ができた。
・ ほとんど付き合いがなかった学生との交流ができた。

問25-1 自由回答

- ・2年間で延べ1000人の参加し、中学生のボランティアを含め、手伝ってくれる人も増えて行事として定着した。
- ・餅つき大会を開催し、従来地域へ出てこられなかった子ども達の父親が参加され3世代交流ができたことで、小学生対象に自治会で夏休み、冬休み2回自学塾を開催することができた。
- ・地域デビュー事業前からバスハイクをしていたが、組長の引受けが見つかった。
- ・通路ですれ違う時に会釈するだけだった住民同士が立ち止まって会話するまでになった。
- ・夏祭りにこの制度を活用させて頂いたが、過去200名程度の参加者が250名まで増加した。この催しによって若い人とシニアとの結びつきが強くなった(町内会と子ども会の両親など)。
- ・若い世代の参加が多くなった結果、体育委員、組長等役を引き受けていただけるようになった。
- ・隣接町内との交流があった。
- ・若い世代30代～40代の人達から次の事業への協力を得ることができた。お年寄りが数人ではあるが老人会に加入された。

問26. 貴自治会・町内会は、集会施設を持っていますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

問26 3. その他
・ 2町内の共同施設(集会所)
・ 3町共有の集会所がある(市所有物)
・ 4区合同で会館を運営
・ 5町内共通の集会所あり、輪番で管理し使用料あり
・ 6町で共有している
・ URの集会所
・ マンションの一室を無償で提供している
・ マンションの管理組合の集会室を使用
・ マンション内ホールを活用している
・ 会長の自宅の大きな居間を常時使用しています(会場代を払う)
・ 県営団地として集会所あり
・ 個人マンションの集会場を借りている
・ 個人宅を買い上げて所有している
・ 工務店の2階を利用させてもらっている
・ 行事打ち合わせ等に、関係団体所有の建物ホール等を利用している
・ 財産区で所有管理
・ 市の集会所を借りている
・ 市営住宅、集会所あり
・ 住宅会社が建設し事実上譲渡されている
・ 町内にある市営住宅の集会所借用
・ 町内清掃倉庫を集会所(コミュニティ室)としている(改造して)
・ 農事組合の集会所を使用
・ 役員の自宅を事務所として開放

問26-2. 主に、どんな活動に利用されていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問26-2 6. その他
・ ボランティア活動
・ 運動会の反省会
・ 夏祭りの企画運営等
・ 外部サークル等への貸し出し
・ 各種イベントや教室(クリスマス会, そろばん教室, バレエ教室など)
・ 学研事業、集合住宅理事会
・ 学習塾
・ 冠婚葬祭等場所提供
・ 管理運営委員会の開催
・ 子ども勉強広場、健康広場、ネットワーク会議
・ 子ども対象の各種教室
・ 施設の清掃、町内会事務処理
・ 自治会主催事業…夏祭り、餅つき会、歳末防犯etc
・ 住民の親睦会等
・ 食育活動
・ 掃除、山笠の詰所
・ 打ち合わせ
・ 町内の農業委員会、森林組合等
・ 町内行事、家族の集まり、緊急時の避難場所として
・ 町内土地開発事業の会合
・ 町費の集金業務
・ 伝統芸能の獅子舞の練習
・ 任意団体の利用(青年団、荘年会等々)
・ 避難訓練
・ 隣組単位での常会

問27. 集会施設を持っていない主な理由はなんですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問27 6. 必要としていない理由
・ 住居人の数が減ったため。
・ 集会を開くことがきわめて少なく、会長、役員との連絡網を活用している。
・ 1年間に1回の総会しか集まることがないため。
・ あれば利用すると思うが、今のところ施設を利用して何かやろうという意識がない。
・ 以前から近くの会館を使用しているため。
・ いつでも使用できる共用集会所がある。
・ いわゆる地域住人が高齢者しかいない。
・ 飲食店等を利用している。
・ 空港周辺共同利用会館会館が町内にあるから必要がない。
・ お願いすれば広い部屋を貸してもらえるため。
・ 会議は集合住宅の食堂を利用している。
・ 会場を貸してくれるところがあるから。
・ 企業だけで、住民がいないから。
・ 旧いこいの家を現在でも使用中。
・ 旧町において集会施設を持っているので利用している。
・ 漁村センターがあるため。
・ 近隣に相当する有料会議室等有る。
・ 現存する公民館利用で充分。
・ 公園近くの団地の集会所を借りられるから。
・ 企業の集会施設を利用しているため。
・ 個人所有店舗を有償、時間借用しているため。
・ 施設を必要とする時間のみの借りができる。
・ 自治協管理建物が使用できる。
・ 事業の集合等はJR九州高架橋下(ふれあいロード)で行っているため、集会施設を必要としない。
・ 神社参集殿の利用可能であるため。
・ 水利組合集会場が利用できる。
・ 専用の集会施設が必要な程、住民活動が活発ではない。
・ 総戸数が少なく総会なども行なっていないため。
・ 他町内の施設が借りられる。
・ 町内にある老人ホームを無料で使用している。
・ 寺を無償で借りている。
・ 会議の場合のみ日曜に限ってデイケアの施設を無償で提供してもらっている。

問27. 集会施設を持っていない主な理由はなんですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問27 7. その他
・ 9世帯高齢者で1ヶ月1回の清掃日等の時話し合う事が多い
・ そもそもお金が無い。維持管理が困難
・ マンション内に集会所的な部屋がない。ロビーでしか場所がない
・ 以前は他町内と合同だったがその後別れたため
・ 維持管理ができない
・ 一戸建てが少ない
・ 活動が低調につき、必要に応じて会員施設を借用している
・ 公園内に「いこいの家」があり、以前はとても活動に利用されてたが無くなったので、今はとても不自由してます。町内もバラバラです
・ 高齢者福祉施設であるため
・ 今までなかったのでそのまま引き継いでいる
・ 集合住宅(マンション)なので当初より施設がない
・ 住みやすく便利な場所のため空き地はなし。もし欲しがっても莫大な予算がいる
・ 出費がかかる
・ 小さな町内で土地確保建設する資金はない。公民館は遠く、町内の役員会、総会も個人宅で開かざるを得ない
・ 新しい住宅地だったから
・ 新しい町内会、今15年位
・ 建設する余地がない

問28. 行政は、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。当てはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

問28 11. その他
・ URの加入義務化。市・県営住宅での民生委員設置をするべき
・ これからの自治会のあり方の研究
・ そもそも行政は町内会・自治会に何を期待しているのか、何をしてほしいのかがわからない
・ ふれあいネットワーク事業実施に関する情報提供及びノウハウ提供
・ やはり以前のように「寄り合いの場」がほしい
・ ワンルームタイプ集合住宅の町内への対応を検討してほしい
・ 会長をはじめ、役員選考についての対策を講じてほしい
・ 会長宅に建設業者が印をもらいに來る時に管理会社をはっきり書いてくるように指導してほしい
・ 各自治会、町内会に任せるのではなく行政がもっと職務として介入してほしい
・ 集会所の確保、建設への助成をお願いしたい
・ 掲示板の設置への支援
・ 公平な地域支援のための情報収集を期待している
・ 公民館ではない、町内（2～3町内会）に年寄りでも行ける建物（施設）がほしいです
・ 行政OBの方の地域活動参加への啓発を望む
・ 行政として町内会役員に手当を支給する制度の条例化
・ 行政に関わる職員の自発的な行事参加が必要
・ 行政の仕事を地域に押し付けないこと
・ 高齢化に対応した町内会活動の見直し
・ 市の予算で各町に集会所を建設してほしい
・ 市営住宅なので入居者が母子家庭、高齢者が多く、役員等の人材不足に繋がっているため改善をお願いしたい
・ 市主催イベントを中央地区だけでなく、末端の町でも実施頂きたい
・ 市職員の参加（特にOB）
・ 支援されても規則等により制約が多い。もっと大らかに自治会等がやりやすいようにすべき
・ 住民に対して、自治会加入のメリットを示してほしい
・ 自治会長の準公務員化を望む
・ 集合住宅の町内会の現状、実情を十分に把握してもらいたい
・ 組織の簡素化
・ 総会等開く場所の案内などがあれば良い
・ 地域コミュニティづくりは、行政と「共働」なくては推進できないため、地域支援課の職員のレベルアップを求めたい
・ 地域住民の代表組織としての必然性を再検討すること
・ 町内会の市役所への手続きの1本化
・ 町内会の大切さ、メリットなど、市政だより等で時々、取り上げる
・ 町内会へのバックアップ
・ 町内会をなくす方策を考える
・ 行政の末端組織ではないと考えるため、行政の役割としては情報の提供に限る
・ 町内会役員のみが使えるパソコンを公民館に置いてもらえたら助かります
・ 町民館の修理費、改修費の支援をしてほしい
・ 避難場所に水・食料の準備
・ 防災関係にもっと力を入れること
・ 防犯、防災対応の機材、例えば町内放送の機器の充実
・ 役員選出の他の自治会・町内会の事例などを示してほしい
・ 有料ボランティアの検討

問29. その他、地域活動を行う上で日ごろ感じておられることや、運営・活動にあたって工夫しておられること(住民の理解促進、活動への参加促進、予算の確保など)がありましたら、自由に記入してください。

問29 自由回答
・「町内会って何をしている、何のメリットがある」という疑問に答えることができるようにすることが大切と感じている。
・市へは、町内会への加入促進の支援をお願いしたい。任意団体であるが、市・区とは補完関係にあり加入することのメリットを説明してほしい。
・各役員はボランティアなのに住民からの過度な期待、責任を感じている。自治会長に昔の様な報酬があると思われる。
・ボランティアで週1回(月4～5回、1回につき3～3.5時間)のサロンの責任者をさせてもらっているが、高齢ながら、人のお役に立っていることへの喜びが自らの健康維持に役立っている。
・2015年に設立した若い自治会だが、よく話し合う、楽しい活動を行うことをモットーとしている。このため行事の参加率が高く総会も実出席者が約5割となっている。今後とも押し付けにならない活動を続けていきたい。
・大きな町内会と比べて、色々新しい事をやりたいと考えても予算的な事でなかなか難しい。
・現在、課題として考えていることは、子どもの数がなかなか増えないことと、子ども会に入ってくれない親が3～4割いる事。(子どもは参加したいが参加できない状況)行政としての支援をお願いしたい。
・約5年間町内会長をさせてもらい、地域の色々な住民の方と交わり、話したり活動を続けていくうちにやはり「人は助け、助けられ生活して行く」事が大事であり、大切な事だと感じた。
・自分の仕事と自治会長の仕事の両立が難しいと思うが、得る事も多いと思う。他の人々も自治活動に参加して人との出会いを多く持つてほしいと思う。
・自治会の活動や地域住民が自治会員となる事の満足感(メリット)等の対応を協議検討するための組織「NEXT選考委員会」を新たに設けた。平成30年度より。
・空き地に対する対処ができない。行政に相談するもよく理解できず、ごく最近の台風で家屋の屋根が飛び、隣に住む住民がどうしたらよいか困っている。空き家対策に力を入れてほしい。
・自治会活動の透明化を図るため、自治会報を発行し、使途が具体的に分かる費目名で決算書を載せると共に、自治会での飲食費と、役員手当を全て載せ、元帳、預金通帳、領収証、全て公開するようにした。
・運営、活動費があまりにも飲食関係に使われ過ぎている。特に自治協関係者の意識が校区民の大切な会費という事を理解できていない。市の助成金も同様。その点を市の指導が必要と考える。
・先人から、受けついで行事を大切に継続しつつ、今後はひとり暮らし世帯の対応が特に重要課題と考えている。
・会則、総会資料の作り方について指導をしていただきたい。監査の日付、予算の使用等。
・会長職に専念するには、公民館館長と同じくらいの月収が必要である。以前のように月給制にする必要がある。後任もつくりやすくなる。※早急に対応してほしい。
・役員を担える人達が現役世代のため、会長を1年制にし、副会長を5名選び6名で運営している。皆が仕事をしながらできる仕組みにしている。
・民生委員の定年が75歳であり、任期3年とすると72歳までの人をどう探すのが負担である。長く担当することで民生委員が地域住民から信頼されるのに、一期だけで良いのかとも思っている。
・活動する方々の意識改革が大切だと思う。町内(町民)～校区(校区民)～行政との連携を上手に活用していくこと。町世話人制度から自治協に代わって日々地域活動は良くなっていると思う。
・環境整備(放置自転車、ゴミ収集等)への行政の積極的支援と情報の提供。違法民泊への情報提供と行政の積極的支援が必要と感じている。
・防災時避難場所として公民館・会館・小学校等を挙げているが、マンション等大型集合住宅では避難する必要がないのではと思われるが、その公式見解を示してほしい。
・基本的にボランティア活動だから、無理をしない、必要でないことは止める、仕事、家事優先を基本としている。時代・環境が変わってきているので、昔からやっているイベント事業はどんどん見直すようにしている。
・行政からの研修会や講習会への何名以上という要請にはきびしいものを感じている。誰もが参加してみたくするような工夫を望むところ。
・町内会長は、色々な分野に関わらなければならず、行政の催事などに動員させられる時は本当に納得ができない。町内の為に頑張ろうと思えば思う程、自分の生活から時間が失われていく。
・行政として自治活動への(町会費の納入の促進)重要性と理解促進をお願いしたい。
・私の考え方として、町内会でできることは自分達でやる、しかし、できないことは行政にお願いするという考え方でやっていきたい。町内会として女性の活用を進めていきたいと思っている。
・行政の地域に応援する事業が毎年多すぎると感じる。校区単位で何かを行うことになると、結局、自治会活動にプラスされ、忙しさを増すことになる。「何かあれば言って下さい。相談にのりますよ」位で良いと思う。
・行政は任意団体というけれども、全世帯加入でなければ基礎がつかれない。災害時には、あるいは援護が必要な人が未加入の場合はどう対応すべきなのか。
・組長、役員(委員)は輪番制で回しているが町内会長のなり手が無い。また、町内会長は校区自治協の役員を兼務する事になるがその負担が大きく敬遠されている。

問29 自由回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会、体育祭などの個人情報(氏名・年齢・住所など)が収集できない(個人情報保護法)。自治協議会には特約、もしくは制限付きでも良いから名簿を提供してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区が2つの行政区にまたがっているため、自治協議会活動をはじめ校区単位に設置されている公民館活動など重複している。諸々の活動が合理的に、効率的に推進されるようしっかりと検討すべき重要な課題の1つと考えている。福岡市内に3カ所あると承知しているが、他の2カ所の実情も知りたいと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化により草刈りや清掃が困難。孤独死を防ぐ為、見守りカード(町内会長・民生委員の連絡方法)の配布。部屋のスペアキーを集会所に備え付けたキーボックスに保管し、そのカギを民生委員が管理する啓蒙運動。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国政調査、民生委員のあり方など行政からの要請のあり方など見直してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て、高齢者見守り含め、行政からの縦割りで各自治会に下りてくるのでは無理がある。せめてそれをまとめる公民館レベルで横のつながりを強化し、ボランティアではなく、民間のいわば指定管理的なものを取り入れる必要があると感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年から町内会長を受け、高齢者の方が多く健康日々すごしていただきたいので、民生委員の方と連携を取りながら少しずつ町民館で軽スポーツを行っている。又、色々な情報を取り入れ、病気になるまい生涯スポーツを取り入れて行きたい。まずは校区より町内会が大事だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害避難所として校区小学校では遠くて年寄りなど避難できない。町内会が定例会を開催できる施設を校区内にもう少し作って欲しい。場ができる事で住民のコミュニケーションも高くなり災害避難場所にもなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時のタイムリーな情報提供が望まれる。避難勧告、支持を出しても自治会がこれを受けて行動することの難しさを感じている。より具体的な情報、ある意味ピンポイントの情報が見られる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会長は仕事ではなく、「ボランティア」と位置付けられている。その割には業務多忙でありながら、住民の意識は他人事と考えて、ほとんど無関心の人が多い。これらの人をいかに自治会に目を向けさせるか、情報の提供を常に行う事を心がけている(例:毎月実施の定例会の議事録回覧)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民も色々な人がいるので、気持ちを知るため役員等老若男女いろいろな人で構成するのがベスト。若い人と話し合ったり連絡のツールとしてはSNSが適当。年配の方には掲示板、口頭など、相手に合わせて多くの人に発信できるようにしていきたい。また働いている人もまき込む方法を考えていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住人同士のつながりや交流を図れる自治会活動となるように心がけている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民と言っても色々な方々で成り立っている。特に生活に困っている人にとっては仕事優先で活動への参加はまず頭にならないのではないかと。「住民同士の支え合い、助け合い」などは自治会活動の範疇では無いのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民同士の交流、理解促進が最も重要。地域デビュー事業は大変効果があった。情報の入手、人材の発掘につながり、基盤作りと維持発展には欠かせない。事業の継続、予算確保を是非お願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の方が自治会で行う行事や予算面など、町費が適正に使われているかどうかの判断材料を”町内会だより”(毎月一回発行)などの広報(回覧、掲示板)により発信している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民への情報提供を行っている(A4紙に3~4枚)。その中に住民の課題があれば記入できるようにしている。土砂災害のハザードマップで全世帯特別警戒区域警戒区域の為、台風や大雨情報には気を使っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進み、行政は自治会、町内会が独立して欲しいとのアナウンスが多いと感じている。当自治会はマンションも増え、単身者も多くなり、隣同士や各組で協力するのは大事だと分かるが、現役世代では多忙で老々支援が多いと思う。行政はもっと入り込むべきだと考えている。これは民間には委託できない市の役割かと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ずっと前から感じている事だが、県の職員、市、区役所の方々が退職してから自治活動や町内ボランティア活動に参加する方が非常に少ないと感じている。現職の時は色々、提案や指導をしているのに残念。役所の中で意識を高める活動をしてもらいたいと思っている。自分の知っている狭い範囲かもしれないが。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成功体験無しで結果を出すことはできていないが、役員に対し会議の前には「会議の目的」を周知し、会議後は「報告」を丁寧に行うことで住民への理解の輪が広がっていくことを期待している。予算の確保は自治会の場合「自ら稼ぐ」しか方法なく、加入促進に文書案内を含め努力している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動が活発であることが善であるかのような風調があるが、町内会というのはそもそも住民の意見民主的にある程度集約する組織、換言すれば地域住民の声の代弁者という位置づけであればそれで良いと考えている。行事が云々というよりは会議(特に総会)が民主的になされているか、会計に透明性はあるかなどが守られていればそれでいいのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動は、基本的に奉仕活動と考えている。これを支えているのは、知り合った仲間とのコミュニケーション活動の喜び。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動はボランティアが基本と理解しておりますが、活動を充実させればする程、この「域」を出ているのではないかと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動より、各々が興味ある組織、団体に参加し活動している姿が見受けられることが多い。何らかの形で社会参加しているのであれば、地域活動を積極的に進めなくても良いのではないかと感じている。一方、孤独を感じている高齢者もおり、その方々とのコミュニケーションをいかにとっていかすが、重大な問題となっている。今後、定期的におしゃべりの場を開放する等、取り組みを考えていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を行う前に、人材確保に苦労している。行政からの指示が多く、自治会長、民生委員になる人がいない。私共は、3年前私が自治会長就任の条件として、皆で仕事を分担することを条件に引き受けた。回覧(21組)の組長への配布、1.15日の子どもの見守り、青パト乗車、又副会長は町内の仕事中心で会長は自治協の仕事中心というふうに分けて、手当は、三役の手当より、担当の皆に配っている。今はすごく良くいって、次の会長への引継ぎもできそうだ。

問29 自由回答
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の安心安全な暮らしを守って行くには、日頃から抱えている不安をしっかりと把握していなければと思っていて。その町内の困りごとや不安、課題を行政も把握しておいて欲しいし、すぐに解決するという実行力が欲しい。町内が動けば行政がきちんと対処してくれるという雰囲気町内の活動意欲と連携している。
<ul style="list-style-type: none"> 町内・自治会の活動の行政窓口の一本化が必要住民に過剰な期待を持たせるような事はやめ、直面(将来に向けて)している課題を説明して理解を求めていくことも必要と思う。
<ul style="list-style-type: none"> 町内会長の市の位置づけ、昔は準職員としているが、手当を望むわけではなく、位置づけを望む。市の職員の中には、町内会費を何故払わなければならないのかと、クレームが届いた時、払う必要がないと一部職員が回答していると聞いている。対応を考慮してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 町内会の位置づけをして公表してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 町内会は何のためにあるのか？どのような役割があるのかを周知するために「ひきあふ町内会」とスローガンを作っている。㊸開かれた町内会→情報の公開。㊹きれいな町内会→環境美化活動。㊺安全、安心な町内会→防犯、防災活動。㊻ふれあいのある町内会→顔見知りになる。
<ul style="list-style-type: none"> 町内会費の出入金を極力オープンにして特に出金には科目別に判りやすく説明して、活動の内容を理解してもらっている。夏祭りに経費等は3ヶ年間の推移が判る程知らせている(夏祭り終了後1ヶ月以内各戸配布)。町内会活動を見えやすいよう行事を季節毎に実施して、その報告をしている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内会への活動助成金を設けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の近場で来やすく集まれる場所を検討中。借り上げる場所、予算、補助等のアドバイスを願いたいと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の皆さんに知らせる手段として掲示板は有効だが、なかなか掲示板の数が少ない。できれば行政で掲示板の設置をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 町内役員に対して、不満等や町内周辺の工事等に不平を言って理解をしない人に対する対応に困っている。
<ul style="list-style-type: none"> 賃貸の集合住宅の自治会加入が困難である。個人情報等を盾に入居者の情報(加入している集合住宅でも同じ)を管理会社から入手不可である。行政として、地域コミュニティ形成の観点から、何らかの指導をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 当校区自治協議会では、各自治会長の任務について指導・援助できる会長になったことがない。皆努力しているようだが、地区の力に何らなり得ていない。組織はリーダーの力量以上になりえないといわれているが、まさにその通りである。個々の人々は大変努力しているが、それをまとめる会長が育っていない。これは市役所の担当者の努力不足の何物でもない。
<ul style="list-style-type: none"> 当町内会はワンルームが多数で会長、副会長2名で運営の為、自治連の活動もままならない。市の指導で他町内と合併の仲介をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 都市化が進み個人主義的な考えが増えてきたことで、地域住民の結びつきが希薄になってきている。しかし一方で、地域の問題は地域で解決する必要があり住民にとって「町内会・自治会があって良かった」と考えてもらう活動が必要であり、それが存在意義であることを認識することが求められると思っている。
<ul style="list-style-type: none"> 人間関係が気薄になっているのは世の常。そんな中で地域活動に参加する人は少ないと思う。災害時の取組などは大切だと思うが、それらは行政がもっと活動の幅を持って取り組むべき。
<ul style="list-style-type: none"> 年々加入者が減少している。昨年、アンケートを集めたが、原因は役員になりたくないがダントツNo.1だった。今後、防災や災害時等は、自治会か窓口となる。やはり、任意団体ではなく、全員参加を義務付ける必要があるのではと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> 福岡市は他県と比べて災害が少ないので住民達の意識がかなり薄いと感じる。有事の時にこのままでは上手に、各自治会が機能するとは思えない。
<ul style="list-style-type: none"> 古い地元住民が中心となって自治を続けており、世代交代が進みやがて引き継ぐ人材が不在する状況が見えている。集合住宅は賃貸がほとんどなので、将来の町の運営に期待が持てない。町の区割りをし各自治会が平均して運営されればと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の中に集会所を作ること望む声が多。従前より微額の積み立てでも進めているが具体的に動けるような金額まで達していないのが現状である。が、しかし、公園にも屋根のある箇所はなく、防災や安全、高齢者や子ども達の娯楽や親睦活動に対する建物の確保は今後さらに望まれるところと考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動として、はちまきを作り、外出の時に玄関横の窓サッシに括り、帰宅したら中に入れる。何日もある時は安否を確認する。高齢者、障がいのある方はなかなか外出されない。そこで、年1回日帰りバスハイクを実施している。年々参加者が増えて、会話を楽しみ、仲間ができ、居場所を見つけている。
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員になる人がいない。前任の方も任期途中でやめた。何か制度上問題があるのでは？活動費の件、活動の割に仕事量が多く、ボランティアの域を超えているのでは？抜本的に問題の解決を計らないと、民生委員のなり手が不足していくのは見えている。厚生労働省の管轄ではあるが、地域活動の問題として、福岡市として上申してほしい。民生委員をボランティアでなく、公務員として構築し社会に貢献させることも考えて頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> わが町内の一番の課題は集会場がないこと。月例の組長会や総会は公民館で行っている。今後、集会場の建設や借り上げについても超高齢化の現状では計画が立てられない。防犯灯のLED化も3年がかりで完成したが、数年後には取り替えが必要。その時の補助は有るのか。
<ul style="list-style-type: none"> 校区が複数の行政区にまたがり、自分の地域でないことを、何故主体をもって活動しなければならないのか疑問がある(市のレベルで改善策について検討してほしい)。町内会の仕事が多すぎる、そんな問題を作っている最大の原因は行政だと考える。何よりもまず町内会や地域におろす仕事を減らしてほしい(防犯、防災、環境保全は町内でやるべきです)。

問30(2)-1.具体的な事業・取組み内容や、事業・取組みを始めたきっかけ・理由などについて記入してください。

問30 自由回答
・住まわせ隊プロジェクト。校区の定住化促進のため「空き家」活用。
・「花いっぱい運動」と称して事業所の敷地内にプランターを置いて水やり等をお願いしている。
・1社のみであるが、体育祭、献血活動、見守り等の協力を頂いている。月1回の協議会には参加して一応協力している。子ども会とその1社とは以前から交流ある。
・2ヶ月ごとにカフェの実施に助成頂いている。
・7月の夏祭り、4月の桜まつりに町内の酒屋が出店している。
・空家活用による定住化促進事業をNPOと連携し、取組している。
・朝倉復興支援事業で各地で産直マルシェが開催されている事を新聞報道で知り、市当局に朝倉市当局を紹介して頂き、朝倉の道の駅と「産直マルシェ」を開催するに至った。
・いきいきセンターなどと協力、要支援者介助、救助など、訓練を行っている。
・商店街と連携し毎月1日～2日、催し物を実施。大学と共同で落語等催し物を実施している。
・一部清掃&BBQ大会をNPO法人と連携して実施した。交流だけでなく環境への意識付けを加味したかったため。
・一斉清掃への参加。総会、定例会の祭り等の会場の提供。
・同じ地区、地域に住む者、営業を営む者として共存共栄を目標に掲げ、イベントを通じて交流を深めるために「秋祭り」を発足させた。
・外国語学校の生徒が校区の運動会などに参加している。
・介護事業と連携して、健康フェスタ等、高齢者の健康維持活動を行っている。町内には高齢者が多い為。
・介護施設(お助け隊結成)に運動会、体育祭、敬老会、文化祭、青パト等にマンパワーを提供してもらっている。喫茶(社協主催)に参加から始まる。
・買い物弱者のために移動販売を週3日間やっている。市営住宅では初めての試み。
・環境美化活動、事業者、学校に呼び掛け、年2回清掃活動を実施している。町内の面積が広い為、住民だけではとてもムリの為。敬老会への学校生徒の出演。
・企業側から「餅つき大会」に参加したいという申し入れがあった。
・町内で起業された時、何かの相互メリットを含め地域に協力の申し出があり、町への協力として文化伝承行事に社員派遣協力、地域消防団に1名加入。自治会と民生委員の発案により30年度より地域老人を校区敬老会会場への送迎開始、町内としてはイベントの広報回覧イベント参加。
・ケアハウスより敬老会の会場の提供、夏祭りの模擬店の出店をして頂いてる。
・公園清掃終了後の高齢者施設の職員による健康運動指導(高齢者施設職員との地域交流)。
・校区内の学校、福祉施設等との町内行事への参加依頼、町内清掃、校区夏祭り
・子ども育成会の催事(夏レク)において大学のマジックサークルに出演してもらっている。
・病院の職員の方々が、スポーツ大会やもちつき大会に参加してもらっている。
・施設から理学療法士等が参加して指導を受けている。
・自治会でふれあいネットワーク活動を推進する中で、福祉事業者、グループホームに会議出席を依頼し、諸問題で相談している。災害時の避難行動要支援者対応にも協力するよう言われている。
・地元の氏神様の秋祭りに出店してもらい、連携を深めている。
・社会福祉法人の団体が、町内や校区活動に協力いただいている。
・集会場がないことで町内にある老人ホームに組長会の会場を提供してもらった。
・集合・活動場所として病院のグラウンド使用させてもらっている。
・障がい者施設主催のバザー等の支援と協力。
・商店街と町とは密着する必要がある。小学校の見守りや不審者対策、ということで協力をあおいでいるが、大手の進出で小売店は縮小傾向にあるのが現実。質問の中に商店街と入れられるほど役割を果たせるのか。
・整形外科クリニックの理学療法士による健康講座、高齢者又、生活習慣病予防の話や体操など毎回テーマを変えながら行っている。町内で月1回のサロンにおいての新しい取り組みとして出されたアイディアで年1回行うことになった。
・総会、定例会の会議場の提供や、町内掲示板の作成に対する寄付、町内研修事業への協力をいただいている。
・地域住民としての位置づけとして助け合っている。企業のイベント参加。校区の夏まつり。地域カフェの場所の提供。ふれあいネットワークの構成員。まちづくり共創懇談会を年2回実施し協力参加の促進。
・地域のスーパーマーケットで月1回「ふれあいカフェ」を実施。高齢者対象施設と一緒に「ほっとかれん隊」を編成して主として高齢者対策を実施。また年数回の訓練等も実施。夏祭りは校区内の企業、商店等から寄付も頂いている。

問30 自由回答
<ul style="list-style-type: none"> 町内あるいは近隣の医療法人との連携でお年寄り向け「健康教室」等を開催している。老人会の定期催事にこちらからの要請をした為。
<ul style="list-style-type: none"> 町内にある老人ホーム(木造)は地域に根付いた、地域と一体となってやっていきたい、そんな願いのもとに建てられた。そんな折、会長に選ばれ役員会、総会、その他イベントの度に使用させてもらっている。勿論ホームの方にも(認知症)参加協力してもらっている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内にある老人ホームで、子ども育成会との行事(夏祭り、七夕まつり、クリスマス会、ハロウィン等、お年寄り子ども達のふれあい作り)。ホームの行事に町内の日舞サークルの方々の出演、年2回程あり。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の一斉清掃を町民だけではわずかで限られているので、いつも民間事業者と協力し合って活動している。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の敬老祝賀会(公民館で開催)で高齢者の送迎をNPO法人に依頼し協力いただいている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の清掃活動に企業(葬儀社)の社員が参加。避難場所に企業(葬儀社)の駐車場を利用。
<ul style="list-style-type: none"> 町内のふれあいネットワーク会議においては町内の役員、民生委員、見守り活動員、それに町内の病院、福祉施設が参加者ですが、その堰で高齢者が買い物に難儀しているとの意見が出て、何かできることはないかということで買い物バスを検討してみようとなって、アンケートなどある程度具体的な取り組みをスタートさせた。ふるさと夏祭り町内の約30社より協賛を得て、スタッフの派遣をいただいている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内の老人ホームが主催するイベントに参加募集したり、老人ホームの職員が地域のイベントに参加したりしている。
<ul style="list-style-type: none"> デイサービス事業者と協力し合って、高齢者ふれあいサロンを運営している。
<ul style="list-style-type: none"> 夏祭りの会場づくり、舞台、テント、電気の配線等への協力。
<ul style="list-style-type: none"> 年1回町内一斉清掃の時、企業が150名程度参加している。但し、雨の時会社は参加しない。
<ul style="list-style-type: none"> 年末に「クリスマスお楽しみ会」として事業者と共同で青果の特売を行なっている。この時、子ども向けに菓子や文具の「クリスマス抽選会」を行う。自治会加入か否かにかかわらず、居住者全員を受け入れている。
<ul style="list-style-type: none"> 春は楠の落ち葉、秋はイチョウ、ケヤキの落ち葉、多い時は清掃活動に学生の参加をお願いした。
<ul style="list-style-type: none"> 病院の駐車場、講堂の無償利用や備品の借用。緊急避難場所の提供。
<ul style="list-style-type: none"> 1) キャンパスサミット「大学と地域交流」のための行事予定と実情報告、2) 町内会年次総会開催のための会議室を提供してもらう。
<ul style="list-style-type: none"> 大学生が地域の運動会や夏祭りにボランティアとして参加している。
<ul style="list-style-type: none"> ふれあいサロンで病院長等の講演やその他の指導員による健康体操等を住民の健康維持の為に行っている。高齢者が多いので、保険会社社員による終活の講演。
<ul style="list-style-type: none"> 祭りに商店連合会が協力していただいている。
<ul style="list-style-type: none"> マンション管理を委託している業者がグループ会社の設備機器を販売する目的で夏祭りを共同開催している。販促を兼ねてイベントを催すことで子ども達と住民のレクリエーションとしても活用している。
<ul style="list-style-type: none"> 民間福祉事業会社と連携し、お年寄り(60歳以上)を対象とした「買い物支援バス」を毎月1回運行している(無料)町内は坂道が多く、徒歩で買い物に行かれているお年寄りが少なからずおられたので社会福祉協議会からの支援も得て、4年前から実施している(利用者10名程)。
<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園から町の一斉清掃に集団で参加してもらっている。
<ul style="list-style-type: none"> リサイクル活動に積極的に参加してもらっている。当初PTAが実施していたが、自治会と連携し町内会毎にゴミをまとめ、事業者は大口なので単体で協力してもらっている。自然災害時の道路整備、倒木の処理等重機を必要とする場合、協力してもらっている。
<ul style="list-style-type: none"> 町内会の避難場所を企業をお願いしている。

(3)企業や商店街、NPO、大学などがどのような形で地域のまちづくり活動に関わっていくことが必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問30(3) 8. その他
・ まず交流を深めることから始めていきにくい
・ やりたい人がやれる仕組みづくり（自主的に）
・ 活動に興味がある人との接点を作る
・ 環境美化や清掃活動
・ 催しなどに参加すること
・ 災害時の共助
・ 災害時の避難所になってもらう
・ 情報の共有
・ 地域のリーダーの育成
・ 地域活動への参加と協力
・ 町が元気になるように小さな店がいっぱいできて住んでいて楽しくなる工夫
・ 町内の清掃等への参加
・ 町内の大学と連携し、講座、レクレーションを実施
・ 日中に災害が起きた時、中学生、高校生等の若い力が直ぐ駆けつける制度を作ってほしい
・ 防災などの面で、日頃から話し合っ情報交換しておくことは大切と思っている